

陳 情 第 3 号

平成29年2月17日

国立市議会議長 中川 喜美代 様

国立市公立保育園民営化に対する保護者要望に関する陳情

陳情の趣旨

貴職におきましては、日頃より国立市の保育行政にご尽力いただきありがとうございます。

国立市は公立保育園民営化について、平成 21 年に、2 園の民営化を行う計画を示しましたが、保護者・保育士・市民の活動により、双方の話し合いを重ねた結果、計画が見直されることとなりました。

平成 22 年の保育審議会答申では、『公立保育園の民営化については、在園児やその保護者、職員（関係者）の声を丁寧に聞き取る等、十分に配慮がなされる必要がある』と示されたことから、公立保育園の保護者会では、次に民営化が検討される際には行政と保護者の間で話し合いが行われると考え、民営化計画が検討されていないか対市交渉の場などにおいて確認を行ってまいりました。

ところが、平成 27 年の保育審議会に民営化の方法やプロセス、ガイドラインについての諮問が出されるまで、保護者に対して、説明や連絡はありませんでした。そして、国立市が開いた説明会では、庁内でどのように民営化が検討されてきたか、その際に保護者の意見をどのように吸い上げたかについての説明はなく、国立市の保育課題や今後どのように民営化を進めていくかということを中心に話されました。

保護者達も自ら学び、勉強会を進めていくうちに、平成 27 年保育審議会が開始される前に既に公立保育園民営化について庁内合意されている事が明らかになりました。民営化することが庁内合意されていた事を保育審議会の公立保育園保護者代表を含む当事者が与り知らないままに、審議会が進行し、答申が出されました。

現在、庁内で検討を進めている保育整備計画についても、『どのような事を話しているのか当事者に伝えてほしい』と伝えても、『内部のことは伝えられない』との返答でした。また、保育整備計画は中間答申が示される予定でしたが、知らぬ間になくなり、何一つ説明を受けないまま、保育整備計画が策定されようとしています。

このようなことから、保護者は「知らない間に進められてしまった」という思いを抱いており、今後の進め方についても、子ども中心で進められていくのか、保護者の声が反映されていくのか不安なのです。『国立市の保育をよりよくしたい』考えの中に当事者の声はなぜ反映されないのでしょうか?そしてこのまま情報提供がされないままなののでしょうか?これらは長く積み重なってきた行政主導の体質であると感じます。これをもう一度市民参画による計画策定方法を検討し、実施していただきたいと強く願い、以下を陳情します。

陳情事項

- 一. 行政に対し国立市保育整備計画について事前に市民が理解できる説明を行った上で、パブリックコメントを実施するよう求めてください。
- 二. 公立保育園民営化について議会は市民への周知・理解に努め、議会として保護者との意見交換を積極的に行うことを求めます。
- 三. 保育園民営化における問題が全国で発生する中で、議会は公立保育園民営化にあたって、議会として市内外の十分な検証を行い、責任ある議決を行う為にも、民営化を実施する前に、議会基本条例第 18 条における附属機関を設置し、有識者及び保護者・市民を交えた調査・研究を行うことを求めます。
- 四. 三の調査・研究を公表し、市民の代表たる議会として、公立保育園民営化の是非そのものを議論し、その結果を行政及び市民に公表する事を求めます。
- 五. 公立保育園民営化に対して注意を払ってきた関係者の多くがその進め方に疑問を持っています。今後、本案件以外でも行政案決定のプロセスについて行政側と市民側の認識の乖離を生まないために、これまでの行政の庁内合意形成プロセスを含む進め方・審議会構成員選定方法及び人数・情報開示方法やその開示時期・決定方法等の行政案決定プロセス全体が、行政と市民が合意形成するうえでの手順として整合性が取れているかを議会として検討し、是正点があれば改善を指導する事を求めます。

以上